

<b>20015 生活と政治</b> Life and Politics		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	滝田 薫	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	教職(C・W)
サブタイトル	等身大の政治について		
授業内容 ・ ねらい	21世紀に入り、現代世界はグローバル化や情報革命の只中にあり、加えて世界経済が危機的状況にあります。日本の社会にもその影響は色濃く現れています。こうしたなかで、健康で豊かな生活をおくるためには、社会の動きや変化がどのようなメカニズムで起こるのか、客観的な視座の確保が必要です。本講義では、現代社会が抱える様々な課題を視野におさめつつ、例えば国家の動きが人々の生活にどういった影響を与えるかといったことについて、理論と現実の両側面から考える機会を提供します。ほとんどが、政治学に初めて触れることになる学生諸君でしょうから、できるだけ分かり易い講義を心がけますが、時事問題を扱うことも多くなりますので、できるだけ、新聞に普段から親しみ、毎日、テレビあるいはラジオのニュースに注意を向けてください。		
授業計画	半期、15回の講義を予定し、これを大きく3つの部分で構成しようと考えています。最初の3回程度は、社会科学入門講座、社会と人間について考える基本的な方法について確認します。次に、明治維新から太平洋戦争の敗戦に至るまでの日本の歴史的な歩みを参考に引きつつ、西欧近代に生まれた「国民国家」の歴史的展開を概説します。それを踏まえて戦後日本の社会と人々の生活（労働や福祉の現状等）について、考える機会を提供します。時事問題を随時織り込んでいく予定です。講義の順番は変更することがあります。 第1回 序論 この講義の狙い 第2回 序論 生活と政治の結びつき 第3回 序論 政治と政治学	第4回 年金問題にみる政治 I 第5回 年金問題にみる政治 II 第6回 少子高齢化と政治 第7回 国家と市民生活 I 戦前 第8回 国家と市民生活 II 戦後 第9回 国家と市民生活 III 現在 第10回 労働と政治 第11回 福祉と政治 第12回 生活設計と政治 第13回 時事問題 I 討論 第14回 時事問題 II 討論 第15回 まとめ	
教科書 参考書	教科書は使用しません。プリントを配布します。		
評価方法	毎回、出欠を質問票の提出の形式でとります。良い質問があれば、期末の論文査査の成績に加味します。		
事前準備学習 履修条件等	一方的な講義に終わらせたくないのので、質問を歓迎します。学生と教師、双方向のコミュニケーションを大切にしたいものです。		